

「未来につなぐ」テーマに

お茶の水女子大学、創立150周年記念式典を挙

1875年(明治8年)に日本初の官立女子教育機関「東京女子師範学校」として設立されたお茶の水女子大学は今年、創立150周年を迎えた。11月29日には同大講堂「徽音堂」で、「未来につなぐ」をテーマに創立150周年記念式典を挙げる。式典には、来賓として文部科学省の合田哲雄高等教育局長、国立大学協会の藤井輝夫会長(東京大学長)の

ほか、海外協定校である伊コッレージョ・ヌオーヴォのパオラ・ベルナルディ学長、仏ストラスブール大学のフレデリック・ペロー学長らが出席し、祝辞を述べた。また、式典では創立150周年を記念して作られた新学生歌「憧憬(あこがれ)」の披露された。佐々木泰子学長は式辞で「これからも社会の要請に応える改革に挑戦していく。ジェン

ダー平等、一人ひとりのウェルビーイングの実現、持続可能な未来を実現するために、リーダーシップを発揮できる女性の育成に貢献していく。女子教育の新時代を切り開くべくまい進していきたい」と力強く語った。



創立150周年を記念して作られた新学生歌「憧憬(あこがれ)」を歌う同大合唱団



ベルナルディ学長



合田高等教育局長



佐々木学長



ペロー学長



藤井国大協会長